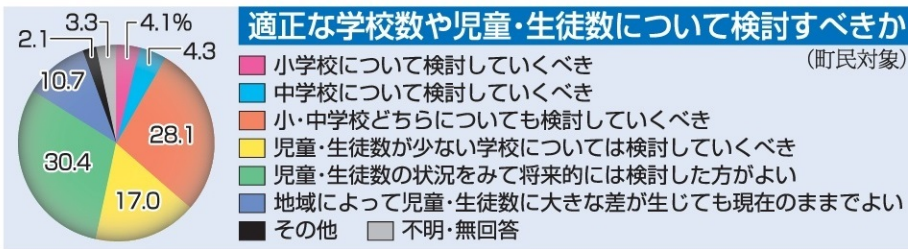


学校再編 8割前向き

南越前町教委町民アンケート

児童数現状認識に地域差



南越前町の小中学校 小学は4校で児童数は計525人。中学は3校あり生徒数は計312人。このうち児童数が58人と最少の河野は1クラス25人。湯尾79人、今庄100人も各学年1クラスずつで、288人と最多の南条だけが2クラス(1学年38人、52人)ずつある。3中学の生徒数は南条169人、今庄108人、河野35人(2016年4月1日当時)。

南越前町教委は、検討員会が12月に実施した。を進めている小中学校再編に関する町民アンケートの結果を公表した。少子化が進む中で、適正な学級数や児童・生徒数について検討することに、町民の83・9%、園児・小学生の保護者の84・9%が「していくべき」または「将来的にはした方がよい」と、学校再編に前向きに回答した。学校教育のあり方の参りにしよう」と、昨年11月に設立された再編検討委

「町として適正な学級数や児童・生徒数について検討すべきか」に対し、児童・生徒数の状況をみて将来的には検討(30・4%)が最多。「小中は学校どちらについても検討していくべき」(28・1%)、「児童・生徒数が少ない学校については検討していくべき」(17・0%)が続いた。1学級当たりの児童数には「少ない」(42・1%)、「適正」(26・7%)、「やや少ない」(24・2%)と回答。生徒数は「適正」(35・3%)、「少ない」(32・6%)、「やや少ない」(25・3%)で、中学より小学校の方が少ないと感じていることが分かった。

小学校区別では、河野の町民は「少ない」が86・6%と圧倒的だが、南条は「適正」が44・5%と最多。中学校区別でも「少ない」は、河野の86・6%に対し、今庄34・0%、南条16・7%と、地域差が浮き彫りになった。詳細は町のホームページで閲覧できる。検討委事務局を務める町教委の津田尚弘教育長

(中坪佑香)